

筑豊無形文化遺産

校歌探訪

飯塚市・嘉麻市・桂川町 〈中学校編〉

私が中学に入学したのは昭和36年。

当時の日本は池田内閣が策定した所得倍増計画の推進途上にあり、既にお茶の間の主役になっていたテレビは、前年にはカラーの本放送が始まっていた。

そしてこの年、トヨタの大衆車〈パブリカ〉が発売され、日本に「車社会」の到来を告げた。

街中に子供達は溢れ、少子化による人口減少の現状など想像もつかない時代だった。

以下は、飯塚市・嘉麻市・桂川町の中学校を私の母校穂波西中まで、順不同で書き記した。

山下 末廣

(筑豊ゼミ市民遺産研究会)

目次

1. 対象中学校2
2. 校歌に歌われている山・川・植物などの言葉2
3. 歌詞に書かれている色3
4. 歌詞に多く使われている言葉3
5. 小学校との比較3
6. 歌詞に校名の無い学校3
7. 中学の校歌に使われた主な言葉3
8. 校歌の中の四字熟語（小・中共通）3
9. 中学校編作詞者一覧4
10. 中学校編作曲者一覧4

校歌考

(1)・幸袋中学校	・穂波東中学校5
(2)・鎮西中学校	・颯田中学校6
(3)・二瀬中学校	・飯塚第二中学校7
(4)・飯塚第一中学校	・山田中学校8
(5)・筑穂中学校	・桂川中学校9
(6)・碓井中学校	・庄内中小学校 10
(7)・稲築中学校	・稲築東中学校 11
(8)・嘉穂中学校	・穂波西中学校 12

1. 対象中学校(16校)

飯塚市(10校)

(飯塚地区:5校)・飯塚第一中学校 ・飯塚第二中学校 ・幸袋中学校
・二瀬中学校 ・鎮西中学校
(穂波地区:2校)・穂波東中学校 ・穂波西中学校
(筑穂地区:1校)・筑穂中学校
(庄内地区:1校)・庄内中学校
(穎田地区:1校)・穎田中学校 (平成25年、小中一貫校穎田校開校)

嘉麻市(5校)

(山田地区:1校)・山田中学校
(稲築地区:2校)・稲築中学校 ・稲築東中学校
(嘉穂地区:1校)・嘉穂中学校
(碓井地区:1校)・碓井中学校

桂川町(1校)

・桂川中学校

2. 校歌に歌われている山と川 (16校中)

(1) 山 14校 14/16 (88%)

- ① 竜王山… 5校 (31%) (穂西・飯塚一・飯塚二・二瀬・鎮西)
- ② 三郡山… 2校 (13%) (桂川・筑穂)
- ② 笠置山… 2校 (13%) (幸袋・二瀬)

その他、関の山・大根地・長谷山・金毘羅山・福智山・大法山・琴平山
・英彦山など

(2) 川 11校 11/16 (69%)

- ① 遠賀川… 3校 (19%) (飯塚一・鎮西・二瀬)
- ① 嘉麻川… 3校 (19%) (飯塚二・碓井・稲東)

その他、穂波川・高田川・白川・庄司川・山田川など

(3) 両方ある 7校 7/16 (44%)

(飯塚一・幸袋・飯塚二・穂西・碓井・筑穂・穎田)

(4) 山と川(固有名詞)がない学校 2校 (稲築中・嘉穂中)

(5) 山の名一覧

竜王山 三郡山 笠置山 英彦山 関の山・大根地・長谷山 金毘羅山
福智山 大法山 琴平山 大将陣 古処山・馬見山

(6) 川の名一覧

遠賀川 嘉麻川 穂波川 高田川 白川 庄司川 山田川 内住川 庄内川

3. 歌詞に書かれている色

緑・緑に映える(幸袋・稲東・庄内) 緑もえ立つ(桂川) 谷の緑(嘉穂)

松の緑(穎田) 木の緑(碓井)

他に、白亜の学舎・紫匂う・峰むらさき・さみどり匂う・黄金の穂波・赤きいらか
・茜雲など

4. 歌詞に多く使われている言葉(16校中)

① 誇り(9校) 56%

② 理想(8校) 50%

③ 仰ぐ・励む・学び舎・われら(7校) 44.7%

④ 希望・歴史・母校・清い・命・若人(5校) 31% となっている。

* 小学校では使われてなかった「筑豊」「真理」の二つの言葉が3校(19%)で新登場。
また、小学校では1校(熊ヶ畑)だけの「自治」が4校(25%)に急増している。

5. 小学校との比較

・希望・清い・強い・伸びる・明るい・正しい・夢・元気・進むなどの言葉が激減し、
・理想・誇り・命・母校などが急増している。学び舎・弛まず・仰ぐ・われら・励む・歴史
などの言葉は小・中で平均的に高い割合で使われている。

ただ、難しくあまり使わない言葉の「久遠」は小学校で4校(13%)あったが、
中学では1校だけ(飯塚二中)に減少しているのも、逆の現象で面白い。

6. 歌詞に校名のない学校(4校) 4/16 25%

・穂波西中・二瀬中・稲築中・穎田中

* 小学校は30校中の3校・10%であり、中学で倍増している。

7. 中学の校歌に使われた主な言葉

・蛍雪・産土・友愛・水嵩・秀峰・翠嵐・常盤・朋友・畚・錦絵・暁鐘 など

8. 校歌の中の四字熟語(小・中共通)

・雄大秀美(椋本小) ・質実剛健(上穂波小) ・不撓不屈(二瀬中)

・自主共同(山田中) ・自主独立(飯塚二中)

9. 中学校編作詞者一覧

- ・田生 久 ……(碓井中 ・穂波東)
- ・持田 勝穂…(飯塚一中 ・桂川中)
- ・入田 利美…(稲築中)
- ・栗原 一登…(嘉穂中)
- ・坂本 虎男…(穎田中)
- ・鈴木 茂利…(二瀬中)
- ・長井 盛之…(筑穂中)
- ・野見山重次…(庄内中)
- ・深町 純亮…(穂波西)
- ・舟木 由岐…(稲筑東)
- ・松岡 俊幸…(山田中)
- ・皆川 一男…(幸袋中)
- ・宮崎 誠…(飯塚二中)

10. 中学校編作曲者一覧

- ・森脇 憲三…(飯塚一中・桂川中・山田中・幸袋中・稲築中・鎮西中
・穂波東・稲築東・二瀬中)
- ・阿部 辰雄…(庄内中)
- ・石丸 寛…(嘉穂中)
- ・市川都志春…(穂波西)
- ・岩田 辰雄…(碓井中)
- ・清瀬 保二…(飯塚二中)
- ・安永武一郎…(筑穂中)
- ・吉竹 一…(穎田中)

〈校歌考〉(1)

幸袋中学校

作詞 皆川 一男 作曲 森脇 憲三

1 庄司の川の水清く

笠置の緑映える朝

若さを誇る眉上げて

仰ぐは自治の旗印

光ぞ光我が母校

嗚呼幸袋我が中学校

2 歴史を秘めし白旗の

木の間をそよぐ風英か

友愛花と咲くほどり

知識の泉酌み交わす

誉れぞ誉れ我が母校

嗚呼幸袋我が中学校

穂波東中学校

作詞 田生 久 作曲 森脇 憲三

1 朝日さす金毘羅山ゆ

見はるかす花の錦絵

美し稲美し稲

穂波東の学び舎に

学び舎に契る我等ぞ

2 はればれし南尾の里

平恒のつねの心に

身を鍛え身を鍛え

技を磨きて

技を磨きて励む我等ぞ

* 金毘羅山… 東中の裏山にある標高64mの南尾城址。南尾城は大友勢と戦った秋月種実の陣城だった。

金毘羅山ゆ … ゆ(齋)は、齋(い)み浄(きよ)める事。神聖なこと。…神聖なる金毘羅山の意。

※見はるかす(見晴るかす)…遥かに見渡す・見晴らす。

※はればれし…晴々とした。

※錦絵…江戸時代に確立した浮世絵版画の最終形態。

〈校歌考〉(2)

鎮西中学校

作詞 山本松士 作曲 森脇憲三

- 1 歴史は遠くゆかりある 聖の森の鎮西に
螢雪しとう若人の 清き瞳の輝きて
新生の意気いや高し
- 2 東はるかに遠賀川 流れは永久にかわらざる
愛と真実の美しき 師弟のまどい華と咲く
自治学校ここにあり
- 3 学びの窓に竜王の 気高き姿仰ぎ見て
三年の月日かさねつつ 科学の精華学問の道
受けて真理の人たらん

顛田中学校

作詞 坂本虎男 作曲 吉竹 一

- 1 松の緑の滴りを 心にうけて仰ぐとき
多感の涙風に散り 永遠の理想に純潔の
ひとみ明るく地はおどる
- 2 校風染めて麗しく 自由の園に咲き誇る
清き乙女が若人が 希望の明日を描きつつ
真理を求めん意気高し
- 3 福智の峰のかげ映す 流れも清き白川の
岸辺の窓に螢雪の 功をつみて年毎に
吾が学び舎よ栄えあれ

両校に共通のキーワードは「螢雪」と「真理」。山は竜王山と福智山、川は遠賀川と白川が故郷に根付いている。

* 福智の峰(福智山)・・・小倉南区と直方市、田川市にまたがる標高901mの山。

※ 螢雪の功の由来・・・中国は晋の時代、「車胤と孫康」という二人の若者がいた。共に家が貧しかったので、車胤は螢を多く集めてその光で本を読み、孫康は雪の明かりで勉学に励んだ。二人の努力は報われて、後に高級官吏に出世した。

※ まどい(団居・円居)・・・特に親しい者同士が集まって楽しむこと。

(余談 その1) 晋(265～420)司馬炎が建国。呉を滅ぼして三国時代に終焉。後に西晋・東晋に分裂。(当時日本は大和朝廷期)

〈校歌考〉(3)

二瀬中学校

作詞 鈴木茂利 作曲 森脇憲三

- 1 大空高く聳え立つ 笠置の山は雲はれて
この新たなる世にあえる 高き理想の学び舎に
自由の光輝けり
- 2 紫におう明の空 向上の意気いやまして
遥かに仰ぐ竜王の 峯をものぐ愛智こそ
気負う我等が誇りなれ
- 3 水嵩豊けき遠賀川 目指す港は遠くとも
不断の流れ淀みなく不撓不屈の努力こそ
勇む我等誉なれ
- 4 栄光期する若人の 行途は遠く道けわし
新日本の建設を 担う吾等が双肩に
親和の徳は輝けり

※水嵩(水かさ)・水の量

※不撓不屈・・・強い意志と信念。どんな苦労や困難にもくじけないこと

※朝ぼらけ・夜の明け方

※さみどり(早緑)・若草や若葉の緑色 ※玉ゆら・・・ほんのしばらく・少しの間

* 鈴木茂利・・・二瀬中学草創期の教師

* 宮崎 誠・・・旧制嘉穂中学校卒

* 清瀬保二・・・(1900～1981)大分県出身。日本人の素朴な音感に正直で、技巧に頼らない作曲を続けた。

飯塚第二中学校

作詞 宮崎 誠 作曲 清瀬保二

- 1 命あふるる朝ぼらけ さみどり匂う柏の森
自然の恵み地にうけて 久遠の理想求めんと
集う我らに幸多し
かがやけ飯塚第二中
- 2 山脈はるか竜王の 峰むらさきに雲が呼ぶ
真理を究め技を練り よき師よき友たゆみなく
強きつばさを育まん
努めよ飯塚第二中
- 3 嘉麻の流れに玉ゆらの 歴史映していく春秋
まことの鏡磨きつつ 自主独立のかじどりて
世紀の潮みちびかん
うるわし飯塚第二中

〈校歌考〉(4)

飯塚第一中学校

作詞 持田勝徳 作曲 森脇憲三

1 朝日に映える竜王の 嶺に湧き立つ雲を見て
愉しく学び励みゆく希望の窓に光あれ
ああわれら一中一中 飯塚一中

2 歴史を偲ぶ遠賀川 ひびく流れも近く見て
明るく強く進みゆく 我らが理想誇りあれ
ああわれら一中一中 飯塚一中

3 躍進めざす筑豊の カみなぎる空のもと
最善つくし伸びてゆく かがやけ未来栄えあれ
ああわれら一中一中 飯塚一中

山田中学校

作詞 松岡俊幸 作曲 森脇憲三

1 大法の嶺を仰ぎみる
白亜の学び舎学び舎立つところ
集いて学ぶ朋友よ 究めて止まず弛みなく
われら山中山中 その名昂し山田中学校

2 山田の流れのせせらぎに
遠き歴史をぞ歴史をぞ語りきく
はぐむ友情なお深く 自主共同の希いあり
われら山中山中 その名昂し山田中学校

3 さわらでの丘に罨する
不断の励みぞ励みぞ健児らの
カと熱の意気旺ん より遅しく健やかに
われら山中山中 その名昂し山田中学校

飯塚一中の校歌(昭和34年制定)の作詞、作曲者(持田と森脇)は、蓮台寺小の校歌と同じコンビ。
山田中学校は、昭和53年に山田北中と山田南中を統合して開校した新しい学校。

* 山田川・・・遠賀川の支流

※朋友(ほうゆう)・・・「朋」は同門の友、「友」は同志の友。友人。

※さわら(榎)・・・山地に自生するヒノキ科の針葉樹。 ・榎が生い茂る丘にこだまするの意か？

※罨(こだま)・・・(木霊) ①近世までは樹木に宿る精霊。

② ①が答えるとの考えから、声や音が山や谷に反響すること。

〈校歌考〉(5)

筑穂中学校

作詞 長井盛之 作曲 安永武一郎

- 1 産土の森のあけぼの
山裾にたなびくかすみ
駅路の鈴の音しのぶ おお麗しき歴史の里に
ひかりさす理想の学びや
- 2 三郡山は 青垣なして
まなかいに雄々しき姿
励みあううまし友垣 おお遅しき若人われら
そびえ立つ力の学びや
- 3 茜雲 かげを映して穂波川
永久の瀬音にわが望み
胸は高鳴る おお筑穂中はばたくいのち
明日を呼ぶわれらの学びや

桂川中学校

作詞 持田勝穂 作曲 森脇憲三

- 1 空も輝く桂川の 窓に明るくそよぐ風
学べ正しくほがらかに
清い瞳にこの若さ
ああわれら桂川中学われら
- 2 緑もえ立つ筑豊の 築く文化も地底から
励め元気に手をとり
清い心にこの誇り
ああわれら桂川中学われら
- 3 はゆる朝日に三郡の 峰に希望の雲もわく
仰げ理想にもゆる胸
清いほうふにこの力
ああわれら桂川中学われら

桂川中の2番♪緑もえ立つ筑豊の築く文化も地底からの歌詞、特に、**地底**の文句に炭鉱(石炭採掘)の意識がわかる。

※産土(うぶすな)……その人の生まれた土地・生地。

※まなかい(目交い)……目の先・目の前。

※うまし友垣(美し友垣)……すばらしい・よい。(素晴らしい友達) 前述の穂波東中校歌にも「美し稲」とある。

〈校歌考〉(6)

碓井中学校

作詞 田生久 作曲 岩田達雄

- 1 木の緑のさまざまに 朝日に映える長谷山の
正気に集う若人の
契りも深し碓井校

- 2 永泉に湧くや石清水 注ぐ田毎に澄む月の
真如和光のます鏡
自らとぐや明け暮れに

- 3 琴平吹雪に身を鍛え 嘉麻の瀬音に歌を賞で
学びの道を究めつつ
郷土の文化を打ちたてん

庄内中学校

作詞 野見山重次 作曲 阿部辰雄

- 1 緑に映える関の山 敬愛心の教えあり
赤きいらかの聳え立つ
見よや理想の我が母校

- 2 自治の誇りを胸に秘め 学ばん道に手を取りて
築く文化のいさをしぞ
見ませ励まん我が健児

- 3 その名も遠し庄内の 清き故郷にぞ生まれたる
重き使命にふるい立つ
見よや我等のいくところ

※正気(①しょうき)と(②せいき)・・・①正常なこころ・確かな意識。

②正しい気風・気性。上記の場合は②か

※真如和光・・・江戸時代中期の浄土真宗の僧。

※自らとぐや(研ぐ・磨ぐ)・・・自分から進んで研磨、研鑽すること。

※いさをしぞ(勲し・功し)・・・勇ましい・雄々しい。勤勉である。

(余談その2)庄内中学校歌を作詞した野見山重次をネット検索したが手がかりなし。元々、旧庄内町(村)は野見山姓の多いところであり、地元の知名人か郷土史家などかは容易に想像できる。

〈校歌考〉(7)

稲築中学校

作詞 入田利美 作曲 森脇憲三

- 1 山川もよりて教うる学舎に若やぐ心
眉あげて眉あげて空に描くは永久の
永久の平和の園生
- 2 いと高き憲法の調べは人の世の理想の極致
誇らかに誇らかに絶えず奏でて育まん
育まん輝く生命
- 3 花かおる明日を祈りて弛みなく勤しむ貴務
さしのべてさしのべて双手を呼ぶは讚うべき
讚うべき吾等が母校

稲築東中学校

作詞 舟木由岐 作曲 森脇憲三

- 1 朝雲なびく金国の 秀峰はるか澄むところ
緑に緑に映える筑豊の 文化もここに輝かん
我等我等稲築東中学校
- 2 水流清き嘉麻川や 大地に響く堅抗の
弛まん弛まん力身にしみて 励まん友よこの誇り
我等我等稲築東中学校
- 3 掲げし自治の旗の下苦節に耐えて行く歳ぞ
希望の希望の光今ここに 仰ぎいかん我が母校
我等我等稲築東中学校

稲築中学校校歌の作詞者は初代校長の入田利美。歌詞には山河・地名が一行もなく、下記にあるようなルビが個性的だ。

稲築東中の校歌にも嘉麻川はあるが、山の名はない。

* 堅抗・・・地表から垂直または垂直に近い傾斜で掘下げた坑道。通路や通風に使用。

※ 園生(そのう)・・・植物を植えて栽培する庭園。ここでは(そのお) のルビがある。

他にも、永久は(とこしえ)と読ませ、憲法(のり)・理想の極致は(のぞみのきわみ)・貴務(つとめ) など、意図的なルビが振ってある。

〈校歌考〉(8)

嘉穂中学校

作詞 栗原一登 作曲 石丸 寛

- 1 わが町は谷の緑にそよぐ風
嘉穂うるわしき四季に生き
学ぶは楽し日常を 創造つねに君よわれ
眼新たに今日もまた

- 2 土赤む丘に光もさざめきて
窓きららかにわが母校
その名を誇り嘉穂中は 自由を愛し君よわれ
明るく強くおおらかに

- 3 山波の雲の青みてゆくところ
嘉穂水清くふるさとは
歴史は遠く豊かなり 勤労ともに君よわれ
明日を夢み歌ほがら

穂波西中学校

作詞 深町純亮 作曲 市川都志春

- 1 翠嵐こむる筑紫野に
国の歩みは遠けれど
黄金の穂波満つところ 不羈爽邁の気を受けて
松の常盤と競い立つ 学び舎永久に光あり

- 2 東に英彦に剣指せば
西竜王に雲照りて
千歳清し高田川 自然の恵み地の栄えを
讃えて集う若草に 叡智の花は咲きに匂う

- 3 椿が丘の暁鐘に
校統創り伝えゆく
誇りは高し虹の空 息吹く命も健やかに
群像雲と溢れては 希望の調べ燃ゆるなり

穂波西中は我が母校。学校沿革には私が入学した昭和36(1961)年に生徒数最大、1689人で学級数32とある。参考:2015年の生徒数 386人(1年 124人, 2年 137人, 3年 125人), 学級数 13(内特別支援学級1)

※翠嵐(すいらん)・・・みずみずしい緑の山の気。

・翠(すい)は汚れのないみどり ・嵐(らん)は山のみずみずしい気

※不羈爽邁(ふきそうまい)・・・不羈(ふき)とは、物事に左右されず独力で道を切り開くこと。

爽邁(そうまい)の爽はさわやか。邁は先に出る・上に出るの意。

(この文言は、西中の校歌以外には見たことも聞いたこともない。難易度 100%)

私が3番の♪「群像雲」を♪「群青雲」(ぐんじょうぐも)と誤って歌っていたことは、今回初めて知った。それにしても私が歌った「群青色の雲」とは、一体どんな雲だったのだろうか。・・・深町先生申し訳ありません。

* 深町純亮・・・(1925～)甘木市出身。郷土史家。「筑豊炭鉱史話」「炭坑節物語」など著書多数。元飯塚歴史資料館館長。

* 市川都志春・・・(1912～1998)浜松市出身。音楽教科書を中心に、合唱曲集などを出版する教育芸術社を創設した。